



ご存じですか?

ジェネリック

医薬品

上手に選んで薬代を節約

◎ジェネリック医薬品とは

お医者さんで処方してもらった薬には同じ成分・同じ効き目が高い薬と安い薬があるのをご存じでしたか。

高い方の薬は「新薬」。新薬とは、医薬品メーカーが初めて作る薬のことで、「先発医薬品」ともいいます。新薬の開発には10数年以上の年月と数百億円の費用がかかるため、薬価が高く設定され

ます。

もう一つは、「ジェネリック医薬品」。新薬の特許期間満了後に厚生労働省の承認を得て発売される薬の総称で「後発医薬品」ともいいます。

新薬に比べて大幅な開発コスト削減と開発期間の短縮が可能のため、新薬と同じ成分・同じ効き目でありながら、その価格は3〜7割も安価になります。

◎薬の効き目は?

医薬品には、有効性・安全性を確保するために、薬事法によってさまざまな規制が定められています。安全性に関する基準をはじめ、製造管理、品質管理など各段階で守るべき基準があり、新薬もジェネリック医薬品も全く同様の規制を守って開発、製造、販売されています。

また、新薬の特許期間が満了するまでの間、その薬は多くの患者さんに使用され、有効性のみならず安全性の定期報告もしっかりとなされています。したがって、新薬と同じ成分で製造されるジェネリック医薬品の有効成分についても、安全性が証明されています。

◎ジェネリック医薬品に興味を持ったら

ジェネリック医薬品に替えられるか、まずは医師に相談してみてください。薬局で薬をもらうための処方せんに医師の署名がなければ新薬でもジェネリック医薬品でもどちらでも選ぶことができます。処方せんをもらったら、「かかりつけ薬局」へ処方せんを持っていき、価格や効果、副作用などジェネリック医薬品と新薬との違いや特徴などについて納得がいくまで薬剤師にご相談ください。

いきなりジェネリック医薬品に切り替えるのは不安という方は、まず「お試し調剤」で短期間試してみたり、複数服用の場合は一つずつ替えてみるという方法もあります。

なお、分割調剤を希望する場合、別途後発医薬品分割調剤料が料金に上乘せられます。

◎注意

ジェネリック医薬品は、新薬の特許が切れてから発売されるため、すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。また、中にはジェネリック医薬品に変更できない薬やジェネリック

ク医薬品を取り扱っていない薬局などもありますので、その際はこちらの医師、薬剤師に相談し、意見もしっかり聞きましょう。

◎医療費適正化にも貢献しています

ジェネリック医薬品を使用することで、患者さんの薬代の負担が減り、家庭での医療費の節約に役立ちます。

また、慢性疾患では薬代が高いからといって、通院や薬の服用をやめてしまう人も少なくありません。でも、薬は飲み続けることが大切です。

ジェネリック医薬品の使用により、正しい治療を無理なく続けられる環境が整います。そしてひいては高騰する医療費の抑制にもつながります。ぜひ、ジェネリック医薬品を上手に活用しましょう。

問合せ先

役場 保険医療課
内線170